



2017.11.13 News @大館市「地域における外国人問題への取り組み」講演会

11月13日、13:30から秋田県大館市庁舎議事堂で、地域における外国人問題をテーマに、未来を創る財団、石坂代表理事による講演が行われた。

大館市は、大館能代空港から車で30分の至近にある。北秋田の代表的地域として、存在感を見せている。圏内にはニプロ、同和鉱業など有力企業の事業所の他、株式会社大館製作所など地場企業も健闘している一方で、秋田県は少子高齢化で全国の先端をいく。



福原大館市長、中田商工会議所会頭をはじめ、副市長を筆頭に大館市役職員70名が参加。わが国の外国人問題への取り組みの現状、全国各地域の実情、これからの課題など、石坂芳男氏から解説。出席者の真剣な眼差しからは、人口問題への危機感もうかがえる。

国内で外国人の受け入れに関する制度の整備は進んでいないが、現実には200万人を超える外国人が日本国内に在留する事実。国家戦略特区による受け入れや技能実習生の制度改善などを通じて、可能な限り外国人の受け入れを推進しつつ、還流型でなく、定住型の居住者として外国人の受け入れを進めることが地域の活性化には重要であると石坂氏は指摘した。



中田会頭は事業者にもぜひ聞かせたかったと述べ、石坂代表も再度の訪問を約した。



石坂代表、福原市長、中田会頭、麻植事務局長（左から）。（右）大館市・北秋田市・小坂町地域連携の「秋田犬ツーリズム」DMOバッジ。現実の忠犬ハチ公は大館生まれ。生粋の秋田犬は今や数十頭しかいない。このバッジも希少品だ。

